



防災士よこはま

日本防災士会横浜支部通信

第23号 NO. 023

日本防災士会横浜支部
支部長 今井 淳
事務局長 早乙女善彦

発行日 2017年11月25日

横浜市旭区若葉台家庭防災員「HUG」実施報告

旭区若葉台家庭防災員連絡会では横浜市の家庭防災員自主活動補助事業の一環として、自治会長のご依頼で日本防災士会横浜支部に直接「防災講習会」の打診がありました。会場となる若葉台地区センターは大震災時には避難所となることから、「HUG」を提案させて頂き実施いたしました。

日時 2017年(平成29年)11月25日(土) 防災講習会 15:00~16:00

場所 横浜市旭区若葉台地区センター

主催者 横浜市旭区若葉台家庭防災員連絡会

防災士 講師: 横浜支部 長沼副支部長

ファシリテーター: 横浜支部 今井支部長、乾幹事、小菅幹事、高頭防災士

参加者 旭区若葉台家庭防災員、自治会長 合計 13名

内容 避難所開設訓練「HUG」

【内容】

当地区では以前にも横浜支部より講師とファシリテーターを派遣して「HUG」を行っております。今回は2回目になりますので内容的にレベルアップして防災の最新情報も入れてご説明致しました。

パワーポイントを使って、震災時に起こり得る現象と注意点を考えてもらい、避難所運営をするに当たり町内会で何をすべきかを皆さんで考える内容を心掛けました。2グループに分かれて「HUG」カードを使ってのゲームでした。



【主催者・金子様より】

2017年11月25日「横浜若葉台家庭防災員連絡会自主活動一避難所運営ゲームを実施して」避難所では想定できない事情を持った方々が次々に避難してきます。そこで、避難者を受け付けた時にどれだけ適切に対応できるが重要だと良く理解できました。

そのためには今までの災害対応で得られた経験をゲームに反映させて訓練を行い、前もって対処できる能力を持つことは災害を乗り越えるためには重要であると思いました。

【今井支部長より】

今回は、横浜若葉台家庭防災員を対象に「HUG」避難所開設訓練を実施致しました。家庭防災委員の方はいろいろな講習会、研修会を受講されており防災につきましても相当の知識を持っておられますが、避難所訓練になりますと、多くの条件を判断することが難しいと云っていました。何処のHUGの訓練に於いてもトイレの事が一番難しいみたいです。このような訓練を通じて地域が一つとなって防災に取り組むことが減災に結びつくものと思います。日本防災士会横浜支部と致しましても地域防災のために活動を続けて参ります。

報告:長沼副支部長